

所報 あきた

所報あきた 135号

令和5年5月15日発行

発行所 曹洞宗秋田県宗務所

発行責任者 袴田俊英

〒010-0812 秋田市泉三嶽根15-18

T E L (018)868-6871

F A X (018)868-6872

<http://soto-akita.com>

info@soto-akita.com

題字 能代市倫勝寺 山田晃一

写真 想花翁



-
- 令和5年度秋田県宗務所事業計画
 - 令和5年度秋田県宗務所歳入歳出予算
 - 所会議長・所会副議長挨拶
-

通常所会(予算) 平成5年3月28日





事業再開

秋田県宗務所 所長 袴田俊英

今年の春は早く巡ってきたような気がしますが、昨年の豪雪とはうって変わって雪解けも急速に進み、桜の開花もこれまで最も早くつた一昨年に並ぶ記録となりました。春の訪れと歩調を合わせるように、コロナ感染も収まってきたようです。これまで感染者約三十六万人、死者約七千五百人を数え、三年間もの間、行動自粛を強いられてまいりましたが、五月八日からは感染法上の五類になります。これによって行政が行動制限を発出することはできなくなり、マスク規制等も義務ではなくなるとのことです。

去る三月二十八日、予算所会を開催し、事業案、予算案ともに承認をいただきました。年が明けてから宗務庁や東北管区の事業も感染流行前の内容で行われるようになりました。秋田県宗務所においても全ての事業を通常の姿で再開したいと考え、各案を上程いたしました。ただし、現職研修に関しては会場

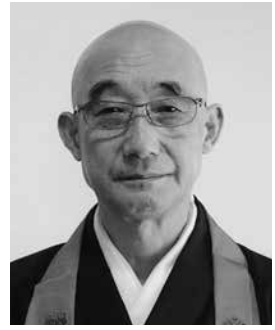
を宗務所とし、昨年同様のリモート併用とさせていただきます。

昨年度の所費は、コロナ禍において各事業が中止せざるを得ない状況にあつて、一点七十円に引き下げました。このことが承認された昨年の予算所会で、斎藤前所長が説明されたように、これはあくまで特例であり一年限定とするものでした。本年は一点八十円に戻して予算を組みました。今後の人口減少・少子高齢化とともに起こる檀家数の減少を考慮すれば、引き下げたままの所費で各事業を運営すべきことが最良であることは間違いありませんが、ウクライナ紛争が引き起こした諸物価の高騰がどのくらい影響するのかわかりませんが、今年度一年間の事業運営を通して見極めたいとの考えによる引き上げであります。現在の所の通常経費を抑える工夫を重ねながら、事業の内容は充実したものにすべく鋭意努力しているところです。各事業に関しましては今

号末尾の事業予定をご覧ください。

六月二十一日は当県において「大本山總持寺開山太祖瑩山紹瑾禪師七百回大遠忌予修法要」が開催されます。引き続き「宗門護持会東北管区集会」が行われるため、出席者は東北管区各県の所長・教区長・教区護持会長に限られます。そこで、宗務所として十一月十七日「禅センター設立集会」において予修法要を勤修いたします。詳細については改めてご案内いたしますが、管内寺院様・御寺族様・檀信徒様の多数のご参列をお願いいたします。

事業が再開されていく中で感じていることは、三年のブランクの大きさです。寄る年波のせいでしょうか。これまで事業がどのように行われていたかしつかりと思いつけないことが多々あります。しかし、これは変革するには好機なのかもしれません。変えてはいけないところは残しつつ、前例にとられない事業展開を試みたいと考えています。



剃除鬚髮

ていじよしゅほつ
ようりぼんのう
永離煩惱

所会議長 藤原徳義

「数え七十になると関節がコキコキと笑い出して、満六十九で体がロックダウン」。古希を迎えた三年前、新型コロナウイルスの心配もよそに洒落を飛ばし、それから昨年までつつがなく日常を過ごしておりました。ところが、生まれ年の干支に当たる新年早々のこと、思いもよらない病気で入院手術を体験致しました。

入院中を振り返ると、髪が伸びるにつれ心は取るに足りない思案に暮れて安定しませんでした。

お釈迦さまは「貪瞋痴の煩惱が起こらないよう自らの頭を剃るべし」と申されました。我々禅僧は「四九日」に「剃除鬚髮・当願衆生・永離煩惱・究竟寂滅」の偈文を唱えて剃髪します。煩惱を離れ妄想を断ち切る方法が他に

あろうか、つくづく思いながら退院するやいなや頭を剃り上げてすつきりさせました。

顧みると、人生は自分の力に余るような困難に遭遇して、ときには迷わざるを得ないし、深刻な苦悩にもさいなまれることがあります。入院中の心境も同様に、誰もが死に対する不安と葛藤しながら、もっと生きたいと願うのが病人の正直な本音ではないかと思いました。

そこで「仏さまの慈悲の中に摂取された自分を知ること。仏さまと親しく通じて直観を頂くこと」と、肝心なことは仏教の教えに対する信仰心の自覚が最も大切ではないか。そう考えると、仏さまの大いなる力によって導かれる自己の安心が可能のように思います。入院先の六階病棟は見晴らしがよく、達子

森という標高二百メートル強の山を眺めながら過ごしました。広々とした平地に遠くからも見えるため、古くから郷土を象徴する山として親しまれています。病室から見渡す山の向こうに自坊の養牛寺があるので始終眺めておりました。冬景色のせいなのか、それとも自坊を心配するせいなのか、時々山容が臥牛のように見えたのが不思議でなりません。

さて、三月二十八日に通常所会が開催され、令和五年度の事業計画案と予算案の審議が承認されました。計画では新型コロナウイルスの鎮静化に伴い、これまで中止されていた全事業が再開されるようです。袴田俊英宗務所長のもと、役員が遺憾なく執務を発揮されますよう期待します。特に過疎化による寺院の檀家減少対策は、今後の必須課題となるでしょう。この難題に秋田県宗務所が真摯に向き合って頂きたいものです。最後に今回の所会を以って教区長は任期満了となり勇退される老師もおられます。茲に拙い議長を無事務めさせて頂いた立場から謹んで感謝申し上げます。合掌



「団塊の世代」と謂われて

所会副議長 嵯峨義房

今年も桜も早く過ぎ、今はツツジや菖蒲の花が咲き始め、田植も愈々と云う好時節になりました。新型コロナウイルスに翻弄され

ました。新型コロナウイルスに翻弄された三年間、漸く落ち着いてきたとは云え、まだまだ先行きは安心できる情勢ではないと思っております。とは云え、三期十二年間務めさせて戴いた教区長の任期も残り一ヶ月となり、無事にバトンタッチが出来れば誠に有難く感謝申し上げます。

七十歳を過ぎ、年内には後期高齢者の仲間入りを果たす歳を迎え、些か振り返ってみれば、平成六年御就任の前教区長老の御推挽により、教区会計を拝命してから現在まで二十九年近く教区事務を担当させて頂きました。浅学非才をも顧みず務めてくれたのも、教区外諸老師の御理解と御協力の賜物であっ

たと今更ながら感謝の念を深くしております。

さて、足腰の衰えを自覚し始め、記憶力の不確かさも周りに指摘される様になった我等が世代、勝手に名付けられた「団塊の世代」。堺屋太一氏に文句は無いけれど、時代の移り変わりと共に社会における立場も微妙に変遷しつつある様に思われます。何事においても人数が多く、常に競争の真っ只中と云う認識でしたが意外と団結力は強く、心強い仲間意識を共有しておったと思います。

戦後復興の槌音の中、希望の星(?)として此の世に命を授かり、「金の卵」と云われた集団就職の仲間を見送った秋田駅での夜行列車、高校大学受験と高い倍率を乗り切り、社会に出ては「モーレッツ社員」時代に突入し、

毎年一万円ずつ給料が増えると云う不思議な時代の中、子供達は祖父母・母子家庭と云われる程、仕事の充実感としては手応えのある時代でありました。他方で年々歳々少子化に伴い年金受給世代の割合の増大により、有難迷惑の世代にはなりたくないと思っております。今出来る事は何なのか、愚の如く魯の如く護り育てながら世間を構成する一個人として、又檀信徒の心に寄り添える菩提寺の住職として益々の弁道精進を心胆深く決意し、実践してまいりたいと念じております。

何はともあれ足下の現実としては、墓仕舞いの御相談や境内合葬墓の希望者の増加傾向に伴い、永代供養に到る前に、遠方であっても、お墓参りに合わせて年回法要を営んで戴く方策等を共に考え、御先祖様に対する敬仰と御供養の心を保養して戴きたいと、お話ししております。まだくコロナが心配です。何卒御自愛下さい。合掌

令和5年度 曹洞宗秋田県宗務所事業計画

令和5年		事業	開催場所	備考
4月	25日	寺族会総会	宗務所	
5月	1日	布教委員会・布教協議会	宗務所	
	23～26日	梅花流全国奉詠大会	東京	
		所報第135号発行		予算報告 他
6月	1日	婦人会総会	宗務所	
	5～10日	梅花特派巡回	管内16教場	特派師範3名
	21日	臨時所会	秋田キャッスル	教区長承認 他
	21日	太祖瑩山紹瑾禪師七百回大遠忌予修法要及び管区集会	秋田キャッスル	
		護持会総会		書面総会
7月	3日	監査会	宗務所	
	10～15日	特派布教巡回	管内17教場	特派布教師3名
	26日	通常所会	宗務所	決算
		禪の集い	管内寺院	
8月	9～18日	宗務所休務		盆休み
	29日	宗務所長杯野球大会		
9月	15日	梅花検定会(中央・県南地区) 四級師範・三級詠範・二級教範まで受検可		
		所報136号発行		決算報告 他
10月	3～4日	現職研修会	宗務所	オンライン併用
	20日	梅花流全県大会	能代文化会館	
	24～27日	本山研修会	永平寺	
11月	1日	宗務所寺族集会・研修会	宗務所	
	7日	梅花検定会(県北地区) 四級師範・三級詠範・二級教範まで受検可		
	17日	禅センター設立集会 併 大遠忌予修法要	秋田キャッスル	
12月	25日～1月8日	宗務所休務		
令和6年				
1月		所報137号発行		
	25日	宗務所梅花講役員会	宗務所	
2月	29日	諮問委員会・災害対策委員会	宗務所	
3月	6日	宗務所梅花講議長会	宗務所	
	25日	徒弟研修会	宗務所	
	28日	通常所会	宗務所	予算

曹洞宗秋田県宗務所・禅センター 令和5年度 事業日程表

【禅センター布教部・研修部・梅花部】

No.	令和	月 日	開始時間	担当	事業名・備考
1	5年	4月7日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会(～15時30分)
2		5月11日(木)	10時30分	梅花部	講師等研修会
3		5月12日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会(～15時30分)
4		6月2日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会(～15時30分)
5		6月27日(火)	10時30分	布教部	写経会 仏教講座①
			13時00分		
6		7月7日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会(～15時30分)
7		7月20日(木)	14時00分	研修部	研修会①
8		9月1日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会(～15時30分)
9		9月4日(月)	10時30分	布教部	写経会 仏教講座②
			13時00分		
10		9月21日(木)	9時00分	布教部	仏教講座・野外研修
11		10月6日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会(～15時30分)
12		11月6日(月)	10時30分	梅花部	梅花流講習会(～15時30分)
13		11月17日(金)	13時00分		禅を聞く会(設立集会併催)
14		11月29日(水)	14時00分	研修部	研修会②
15		12月1日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会(～15時30分)
16		12月11日(月)	10時30分	布教部	写経会 仏教講座③
			13時00分		
17	6年	2月2日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会(～15時30分)
18		2月6日(火)	14時00分	研修部	研修会③
19		3月1日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会(～15時30分)

令和5年度曹洞宗秋田県宗務所歳入歳出予算書

(単位:円)

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増 減
歳 入 合 計	59,000,000	60,000,000	1,000,000
歳 出 合 計	59,000,000	60,000,000	1,000,000
差 引 残 額	0	0	0

歳入の部

項 目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備 考
1 賦 課 金	36,543,340	40,918,960	4,375,620	
1. 寺 格 割	1,844,000	1,844,000	0	格地@10,000×24 法地@5,000×318 准法地@2,000×7 (全寺院数349ヶ寺)
2. 級 階 割	31,042,340	35,476,960	4,434,620	443,462点×80円 (前年度県内寺院級階点数の合計)
3. 教 師 割	3,657,000	3,598,000	△59,000	大 教 師@42,000×1名 権大教師@30,000×67名 正 教 師@6,000×150名 一 等 教 師@3,000×124名 二 等 教 師@2,000×137名 (R5.1.17現在)
2 手 数 料	2,000,000	2,000,000	0	
1. 手 数 料	2,000,000	2,000,000	0	各申請手数料 宗務所義財 梅花義財 (令和3年実績2,189,480)
3 補 助 金	900,000	1,000,000	100,000	
1. 補 助 金	900,000	1,000,000	100,000	本庁事業補助 事務補助 徒弟研修会補助 梅花補助教化補助 現職研修会補助 管区事務補助金・事務手当 他
4 諸 収 入	2,000,000	1,760,000	△240,000	
1. 諸 収 入	2,000,000	1,760,000	△240,000	現職研修会受講料@5,000×120名 梅花検定料@3,000×50名 梅花奉詠大会参加料@2,000×500名 預貯金受取利息 他
5 繰 越 金	17,556,660	14,321,040	△3,235,620	
1. 繰 越 金	17,556,660	14,321,040	△3,235,620	前年度繰越金
歳 入 合 計	59,000,000	60,000,000	1,000,000	

歳出の部

項 目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備 考
1 人 件 費	19,100,000	18,540,000	△ 560,000	
1. 役職員手当	5,460,000	5,040,000	△ 420,000	6名×12ヶ月×@70,000
2. 書記手当	1,820,000	1,680,000	△ 140,000	2名×12ヶ月×@70,000
3. 備人費	200,000	200,000	0	
4. 旅 費	4,500,000	4,500,000	0	管区宗連 教化センター 本庁 管区事業 各種講演会 本山研修会 他
5. 費用弁償	6,000,000	6,000,000	0	所長 8,000 副所長 4,000 教化 3,000 庶務 7,000 梅花 6,000 人権 8,000 佐々木書記 7,000 高橋書記 7,000
6. 期末手当	1,120,000	1,120,000	0	8名×2×@70,000
2 事 務 費	4,700,000	4,700,000	0	
1. 備品費	500,000	500,000	0	書籍 事務機器更新他
2. 通信費	1,200,000	1,200,000	0	電話料 郵便料 配送料 他 (令和3年実績 1,145,487)
3. 印刷費	400,000	400,000	0	封筒 賞状
4. 消耗品費	500,000	500,000	0	雑貨 事務用品 他
5. リース料	1,000,000	1,000,000	0	AED リース料 コピー機 電話機 OA 機器リース料 フレッツジャパン月額 他 (令和3年実績 797,613)
6. 広報費	1,100,000	1,100,000	0	宗務所所報3回発行
3 管 理 費	2,700,000	2,700,000	0	
1. 維持費	800,000	800,000	0	保険料 清掃費 浄化槽管理料 警備保障 他 (令和3年実績 727,705)
2. 地 代	300,000	300,000	0	天徳寺様借地代
3. 営繕費	800,000	800,000	0	修繕費 他
4. 光熱費	800,000	800,000	0	電気・ガス・水道・灯油 他
4 会 議 費	1,500,000	1,500,000	0	
1. 所 会	1,300,000	1,300,000	0	通常所会2回 臨時所会1回
2. 委員会	200,000	200,000	0	監査会1回 諮問委員会・災害対策協議会1回
5 事 業 費	9,350,000	9,650,000	300,000	
1. 事業費	2,000,000	2,300,000	300,000	現職研修 1,200,000 本山研修 400,000 徒弟研修会 200,000 管区人権研修会 300,000 所長杯 150,000 他
2. 布教伝道費	1,000,000	1,000,000	0	布教特派事業(教場補助他 650,000) 宗務所布教師日当@5,000×30回 管内教場補助@5,000×30教場 他
3. 梅 花 費	5,000,000	5,000,000	0	梅花特派巡回事業(教場補助他 650,000) 梅花全県大会 2,100,000 役員会・講長会 300,000 検定会 800,000 師範・詠範の会補助 700,000 師範・詠範の会一泊研修会補助 100,000 梅花養成所 200,000 他
4. 教化費	650,000	650,000	0	布教委員会・布教協議会(年1回) 各種研修会 他

項	目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備	考
	5. 慰問費	100,000	100,000	0	住職永年勤続50年・60年祝膳料	他
	6. 人権擁護推進費	600,000	600,000	0	全国人権研修会	書籍 資料 他
6	禅センター事業費	2,550,000	2,550,000	0		
	1. 会議費	200,000	200,000	0	各会議費	各委員会費
	2. 布教部費	600,000	600,000	0	仏教講座	写経会
	3. 研修部費	600,000	600,000	0	各種研修会	
	4. 梅花部費	450,000	450,000	0	梅花流講習会	
	5. 運用費	700,000	700,000	0	備品	禅を聞く会 他
7	補助費	6,809,000	8,059,000	1,250,000		
	1. 事務補助	3,650,000	4,100,000	450,000	所費の10%	各教区へ
	2. 事業補助	349,000	349,000	0	教区主催研修会	・寺族研修会補助金
	3. 所護持会補助	200,000	1,000,000	800,000	宗務所護持会へ	700,000 管区集会補助 300,000
	4. 禅の集い	800,000	800,000	0	教区寺院開催補助金	
	5. 教化団補助	1,810,000	1,810,000	0	保護司 200,000	曹青会 500,000 寺族会 350,000 婦人会 400,000 布教師の会 200,000 尼僧団 100,000 教誨師 60,000
8	表彰費	200,000	200,000	0		
	1. 表彰費	200,000	200,000	0	住職勤続表彰	寺族表彰
9	慶弔費	2,500,000	2,500,000	0		
	1. 慶弔費	400,000	400,000	0	結制・落慶・本葬	他
	2. 本山慶弔費	100,000	100,000	0	両本山慶弔会	他
	3. 弔慰金	2,000,000	2,000,000	0	管内寺院住職・東堂・副住職	100,000 寺族 50,000
10	負担金	540,950	540,950	0		
	1. 全国所長会	157,050	157,050	0	349ヶ寺×@450	(全国所長会災害援護金 349ヶ寺×@100を含む)
	2. 布教助成費	209,400	209,400	0	349ヶ寺×@600	
	3. 管区費	174,500	174,500	0	349ヶ寺×@500	
11	交際費	400,000	400,000	0		
	1. 交際費	400,000	400,000	0		
12	食糧費	1,300,000	1,300,000	0		
	1. 所会食糧費	700,000	700,000	0	通常所会 2回	臨時所会 1回
	2. 委員会食糧費	50,000	50,000	0	監査会 1回	諮問委員会・災害対策委員会 1回
	3. 所内食糧費	550,000	550,000	0		
13	財政調整費	6,750,050	6,760,050	10,000		
	1. 災害見舞金	2,000,000	2,000,000	0	寺院火災見舞金	1ヶ寺分
	2. 記念品代	2,300,000	760,000	△1,540,000	教区長退任記念品代 200,000	役職員退任記念品代 560,000 (224万円を4年間分割で積立計上)
	3. 財政調整金	1,450,050	3,000,050	1,550,000	設備費・災害対策協議会援護金	他
	4. 基本金操出金	1,000,000	1,000,000	0		

項 目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備 考
14 選挙費	150,000	150,000	0	
1. 副貫首	50,000	50,000	0	
2. 宗務所長	50,000	50,000	0	
3. 宗会議員	50,000	50,000	0	
15 雑費	150,000	150,000	0	
1. 雑費	150,000	150,000	0	町内会費 新聞購読料 置き薬 他
16 予備費	300,000	300,000	0	
1. 予備費	300,000	300,000	0	
歳出合計	59,000,000	60,000,000	1,000,000	

令和5年度宗務所基本金積立会計について

(将来の宗務所改築のための積立)

令和4年度 基本金積立会計

積立累積金	28,563,057	
一般会計繰入金	4,000,000	
利息	522	0.002%
計	32,563,579	

○ 令和4年度分は、上記のように積み立てしております。

令和5年度 基本金積立会計案

積立累積金	32,563,579	
一般会計繰入金	1,000,000	
利息	651	0.002%
計	33,564,230	

○ 令和5年度の予算案には1,000,000で計上しています。

○ 令和4年度の歳入歳出決算時の剰余金処分の状況で繰入金を増額する場合も御座います。

事業報告 (宗務所だより)

◎梅花講役員会

1月23日

宗務所・禅センターにて

参加者 12名

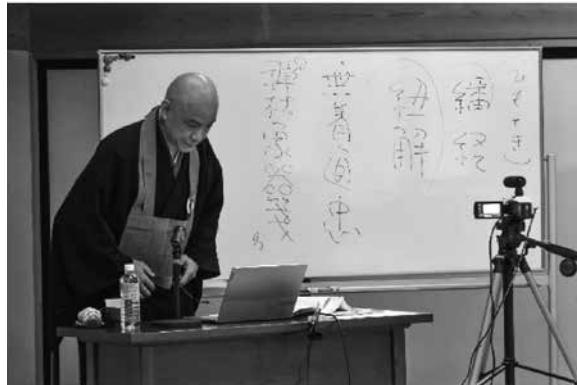


◎研修部研修会

2月10日

「實苗義産和尚語録をよむ(3)」

大般若・施食会・授戒会



講師 龍泉寺佐藤俊晃老師

◎梅花流講習会

2月3日

講師 倫勝寺山田卓爾 師範

福寿寺奥山一英 師範

参加者 7名

◎同

3月3日

講師 普門院本間雅憲 師範

松庵寺渡邊英心 師範

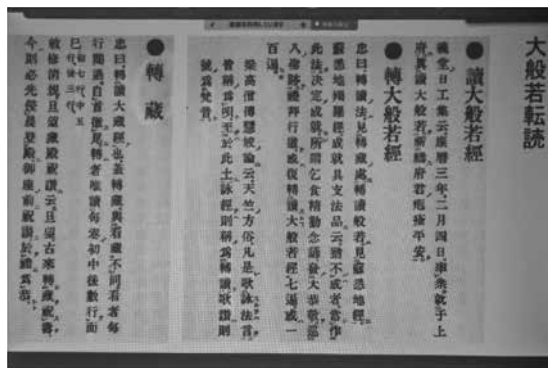
参加者 12名

研修会に参加して

太寧寺徒弟 伊藤 裕道

本研修に初参加の今回は、直接宗務所・禅センターで参学することができました。事前に第一・二回の研

修資料をいただきました。詳細な内容のもので、大変ありがたく思いました。今回は「大般若・施食会・授戒会」の語録の勉強でした。



無着道忠著 禅林象器箋より

研修はとても具体的で、歴史的な事情も詳しくお話し下さいました。大般若の転読に関して、今の作法は



耕田寺様からお借りした掛け軸

折本経典ができた江戸時代よりで、それ以前は、資料画像の記されていることから考えると「梁の時代(折本経典のない時)の転読は、歌詠すること。うたいあげること。声の調子を転じてお経の文言を読んでいくこと。」だったと解説くださいました。初めて伺い驚きました。また、義産様が戒師となつて耕田寺様でお授戒が天保三年にあり、そのとき義産様より天徳寺様の十六羅漢の掛け軸から、耕田寺様がこの二幅をいただいた旨が、外箱裏書きに記載がされています。本題の内容から離れてしまいましたが、研修の様子が伝われば幸いです。

義産様がどのような法を説いたのか、今後の講義でさらに研鑽を深められると思います。このような研修の機会が与えられたことに深く感謝いたします。参加者 18名

対面・オンライン併用

◎諮問委員会

2月20日

◎災害対策委員会

2月20日

◎禅センター部長会議

3月10日

キャッスルホテルにて

参加者 12名



師範・詠範の会総会

◎師範・詠範の会総会
宗務所・禅センターにて
3月15日



宗務所梅花講講長会

◎梅花講講長会
2月16日
参加者 24名



袴田俊英所長挨拶



総会開会法要

◎寺族会総会
宗務所・禅センターにて
4月25日
参加者 約60名



選出された岩館香央里議長



伊藤令子会長挨拶



総会議事の様子



総会議事の様子

五番山抄



この紙面は皆様の思惑を掲載するフリーペー
ジです

第七教区の皆さまの声

今後の僧侶のあり方について

正福寺住職 伊藤 正法

家族葬、寺離れ、墓じまい…。コロナウイルス（以降コロナと呼称）の感染拡大を受け、宗門を取り巻く環境が劇的に変わりました。そもそも段階的な日本国内の人口減少を契機に、様々な伝統的な慣習が変化することは想像するに難しくはありません。ただコロナという未曾有の出来事を受け、一足飛びに構造変化が起こったことに関しては想定外であったと言つてもありません。

先述した通り、急激な社会的構造変化を受け、寺院ひいては僧侶に求められるものも変わって来ているのかもしれない。

『教会は結婚式、神社はお宮参り初詣、寺院はお葬式。』

旧態依然はそれぞれ棲み分けがなされ、結果的にそれで良かったと思います。近年、コロナが日本を席卷してから、宗教的な行事や儀式の回数の減少に伴い、僧侶の出番が少なくなってきました。その変化を考えると、大きな転換期を迎えているように思えてなりません。

それを受け私達僧侶は、何が出来るかとその都度柔軟に自問自答していかなければいけません。都市部から都市部、地方なら地方と地域によって考え方や価値観は確かに違います。ただ共通して言えることは、僧侶として人々とどれだけ共に道を歩めるかという点ではないかと思えます。地域や環境は違えども、基本になるのは人と人のやり取りではないでしょうか。そのように考えれば、どれだけ相手の立場に寄り添い、苦難を乗り越えられるかがこれからの課題かと私は思います。

今後、更なる少産多死の進行を踏まえ、葬送儀礼を執行するだけの存在ではなく、一歩先んじて特別な存在になることが急務だと思えます。その為にも、日々様々な事柄に注意を払いニーズを分析し、注意深く観察していくことが必要なのではないのでしょうか。

身を切る改革

満勝寺 佐々木 正悦

全国統一選挙が行われた。秋田県議会選挙もあった。定数43名が41名となり、熾烈な選挙戦だった。さて、秋田県の予算額は約5,800億円。この金額を41名の議員が審議する。一方我が宗門はどうか。我が宗門の予算額は約50億円である。秋田県予算の百分の一以下である。しかもに宗議会議員の議員数は72名。単純に比較することではないが、議員は多すぎると思う。昭和54年施行された現選挙法は44年変わっていない（平成30年に連記制から単記制に一部改正された）。あの施行された昭和の良き時代とは違う。今や宗門の

存亡は厳しい状況に立っている。構造改革やら、経費削減やらイノベーションを真剣に取り組んでいるようだが、まずは議員の定数にメスを入れたらどうだろう。そして永平寺系、総持寺系と分けて同数にする系別制度。これは今の時代に必要なのか。私には時代錯誤も甚だしく感ずる。深く思慮していただきたいと思う。反対勢力もなければ与党も野党もない、仲良しクラブみたいなことを続けていると宗門は成り立たなくなるのでは。44年も変わらぬこんな時代遅れの選挙法でいいわけがない。選挙が変われば政治は変わる」と言う言葉がある。政治が変われば宗門の進むべき道も見えてくるでしょう。選挙法を改正するのは現在の選良の皆さんである。一念発起して身を切る覚悟で改革して頂きたい。

映画『ひまわり』をみて

福城寺副住職 佐々木 耕志

イタリア映画『ひまわり』は一九七〇（昭和四十五年）公開の名作です。舞台は第二次世界大戦期。

おしらせ・トピックス

令和5年4月1日に第九教区玉鳳院柳川一童師範が梅花流特派師範に任命されました。ご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

令和5年度梅花流特派巡回

巡回（6月5～9日）特派師範
 埼玉県 長泉寺住職 宇田川宗美師範
 埼玉県 壽昌寺住職 長塩 寿秀 師範
 岩手県 高昌院住職 清水 昌俊 師範

令和5年度特派布教巡回

巡回（7月10～15日）布教師
 山形県 松林寺住職 三部 義道 宗師
 青森県 昭傳寺住職 市川 公淳 宗師
 青森県 清涼寺住職 柿崎 宏隆 宗師

.....

◎寺院の手引書（令和五年版）変更点

○P10 「得度」

・申請時の注意事項に追加の記載

○P18 「教師」

・教師資格の取得条件の表に変更・追加点あり

○P26 「寺族登録・除籍・死亡」

・登録事項変更↓氏名変更の部分に「寺族改名届」の追加

○P31 「宗教法人と寺院」

・不活動宗教寺院および無建築寺院についての部分に補足（QRコード）

○P35 「後任候補者・副住職」

・冒頭の文書で後任候補者に関して詳しく記載変更

○P38 「責任役員・干与者」

・全体的に追記あり（要確認）
 ○P52 「布教・教化」

・前回と比べて、写真など内容に変更あり

○「災害支援」
 ・前回の手引書ではありましたが、今回は削除

以上がおおまかな変更点ですが、詳しい文言の変更等については、記載していないので、各寺院で一度目を通して頂けると幸いです。

編集後記

主に予算所会のご報告の所報です。質疑の内容を一部記載させていただきますましたが、少し補足させていただきます。

宗務所会計の仕方は、3月の所会で次年度の予算を作成し、7月に前年度の決算を行っています。予算作成時点では、前年度の繰越金が確定していませんので、推定額を計上しています。7月の決算で剰余金（繰越金）が確定します。所会にて剰余金処分の採決を経て、当年度予算の繰越金となります。予算作成時の繰越金との差額は、補正額となり、歳出の必要な項目に仕分けして所会にて確定いただきます。

財政調整費の項目には「火災見舞金（2百万円）」「記念品代」：教区長及び宗務所役職員（224万円）「退任記念品代」「財政調整金」「基本金繰出金」：将来の宗務所改築のための積立（百万円）です。「財政調整金」は設備費・災害援助金・他が主な歳出目的です。

所会質疑のご指摘にあるように、歳出の各項目に必要な振分をした後、財政調整の名称にある「調整の意」を持って残額を計上し、予算時の草案を作成しています。確かに便利な項目かも知れませんが、

基本金繰出金と同様処理が良い件もあると思います。火災見舞金の準備方法、教区長・所員の退任時の歳出等、百万円を超える案件は積立型の特別会計方式を検討する必要があるかもしれません。更に精査して、より良い会計方式を模索したいと存じます。

また、今年度は所会構成する教区長任期満了改選の年になります。皆様には、沢山のご指導ご協力を賜りました。衷心より御礼申し上げます。ありがとうございました。また、任に就かれる再任・新任の教区長様に、何卒、宗務所事業へのご支援ご教授をお願い申し上げます。

（佐藤徳祐記）

謹んで弔意を表します

													僧侶						
18	6	13	4	14	16	4	14	4	7	9	7	12	教区寺番	寺院名	区分	御芳名	年月日	享年	教師資格
306	194	35	344	120	188	101	127	98	255	283	248	105	驚泉寺	住職	三戸	一雄	令和4年4月5日	82	正
	洞雲寺	住職	嵩	仁芳	令和5年3月4日	77	正												
	龍昌寺	住職	小田嶋道雄	令和5年2月15日	92	権大													
	瀧川寺	住職	市橋	三應	令和4年12月29日	78	正												
	石龍寺	東堂	工藤	義英	令和4年12月22日	94	二等												
	秀泉寺	東堂	宮本	秀孝	令和4年11月25日	88	正												
	圓能寺	東堂	高野	廣道	令和4年11月15日	102	正												
	興昌寺	東堂	大坂	高昭	令和4年10月26日	88	権大												
	高泉寺	住職	横田	恒雄	令和4年10月9日	94	二等												
	永泉寺	東堂	佐々木等山		令和4年9月9日	93	正												
	高泉寺	住職	泉田	泰雄	令和4年8月29日	75	権大												
	自福寺	住職	小西	正修	令和4年7月3日	74	二等												
	普洞院	東堂	宮越	靖文	令和4年5月24日	89	正												

謹んで弔意を表します

													寺族	
6	9	5	13	8	9	16	教区寺番	寺院名	区分	御芳名	年月日	享年		
195	276	156	34	230	345	178	大慈寺	寺族	小野シヨウ		令和4年5月21日	88		
	天仙寺	寺族	福田	和子	令和5年2月26日	98								
	梅林寺	寺族	木村	レイ	令和4年12月28日	98								
	信翁院	寺族	高橋	英子	令和4年11月9日	75								
	萬境寺	寺族	栗田	正	令和4年11月6日	99								
	奠藏院	寺族	伊藤	郁子	令和4年9月14日	84								
	法輪寺	寺族	酒井	節子	令和4年5月29日	85								

写経・坐禅体験をして
法話を聞いてみましょう

仏教講座



県内の寺院を参拝しましょう

野外研修

第1回 6月27日(火) **受講無料**

時間/10時半~12時……写経
13時 ~ 16時……講座
会場/曹洞宗秋田県宗務所・禅センター

9月21日(木)



第2回 9月 4日(木) **申込み随時**

第3回 12月11日(月) **受講料500円**

共に心を磨きましょう

声を合わせてお唱えしましょう



梅花流講習

4月7日(金) 5月12日(金)

6月2日(金) 7月7日(金)

9月1日(金) 10月6日(金)

11月6日(月) 12月1日(金)

2月2日(金) 3月1日(金)

講習時間/10時半~15時
会場/曹洞宗秋田県宗務所・禅センター

申込み随時/受講料無料

普段聞けをい講義を
聞いてみましょう



禅を聞く会

同時開催
大本山總持寺開山瑩山禪師
700回大遠忌予修法要

11月17日(金) **入場無料**

会場/秋田キャッスルホテル
講師/大雄山 最乗寺
山主 増田友厚老師

◇問い合わせ

曹洞宗秋田県宗務所・禅センター
秋田市泉三嶽根15-18 **TEL(018)868-6871**
ホームページ <http://soto-akita.com>
E-mail info@soto-akita.com

年間行事予定

令和5年度(2023)

月/日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
4	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
APR			宗門 護持会 寺族会監査・総務部		梅花養成所(初級・上級)	梅花養成所(研修)	梅花講習						微笑会												寺族総会	第1教区梅花練習				昭和の日	
5	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
MAY	布教協議会		憲法記念日	みどりの日	こどもの日				梅花養成所(研修)	梅花養成所(初級・上級)	宗務所講師等研修会	梅花講習						所内会議 管区集会打合せ	寺族会	第18教区玉林寺本葬儀					全国梅花(東京)					管区宗連(福島)	
6	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
JUN	婦人会総会	梅花講習																													
7	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
JUL			監査 寺族会		梅花養成所(初級・上級)	梅花養成所(研修)	梅花講習			布教師の会総会			特派布教				海の日			研修部 教化フォーラム	寺族会					宗務所 教化指導員研修会	布教師特設検定	曹青研修会			
8	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
AUG									宗務		山の日																			野球大会 管区婦人会	
9	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
SEP	梅花講習			写経会・仏教講座②		梅花養成所(初級・上級)	梅花養成所(研修)		山・結制	第17教区永泉寺普			(長野)	全国人権主事研修	梅花検定会(県中・南)	教化フォーラム		敬老の日				仏教講座・野外研修			秋分の日					管区人権(大館)	

友引 ■■■ 管区 ■■■ 宗務所 ■■■ 宗務庁 ■■■ 県内寺院 ■■■